

第 10 回議会報告会概要報告一覧

担当班	開催月日	開催時間	場 所	出席者数
1 班	5 月 23 日 (月)	19:00～21:00	グリーンピア三陸みやこ 応急仮設住宅集会場 (多目的グラウンド内)	8 名
	5 月 24 日 (火)	19:00～21:00	磯鶏公民館	1 2 名
	5 月 25 日 (水)	19:00～21:05	花輪農村文化伝承館	1 8 名
2 班	5 月 23 日 (月)	19:00～20:30	赤前コミュニティ消防センター	8 名
	5 月 24 日 (火)	19:00～21:00	川井生涯学習センター	7 名
	5 月 25 日 (水)	19:00～21:20	鉾ヶ崎公民館	1 7 名
3 班	5 月 23 日 (月)	19:00～21:00	重茂公民館	1 0 名
	5 月 24 日 (火)	19:00～20:45	崎山公民館	8 名
	5 月 25 日 (水)	19:00～21:00	山口公民館	9 名
4 班	5 月 23 日 (月)	19:00～20:30	基幹集落センター(刈屋)	1 1 名
	5 月 24 日 (火)	19:00～20:30	千徳公民館	1 2 名
	5 月 25 日 (水)	19:00～20:30	津軽石公民館	1 6 名
5 班	5 月 23 日 (月)	19:00～20:45	宮古市役所	1 6 名
	5 月 24 日 (火)	19:00～20:45	三王地区自治会研修センター	5 名
	5 月 25 日 (水)	19:00～20:45	江繋地域振興センター	7 名
計			1 5 ヲ所	1 5 7 名

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 23 日(月) 19 時 00 分～21 時 00 分 会場:グリーンピア三陸みやこ 応急仮設住宅集会場	8 名	〔1 班〕 田 中 尚 北 村 進 佐々木 清 明 佐々木 重 勝 藤 原 光 昭
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
三王団地に外灯とゴミ集積所を早急に設置してほしい。	自治会を組織し、自治会として要望するべきである。	
バス停留所に屋根を付けてほしい。三王団地にはすでに取り付けてある。	(要望)	
震災遺構のたろう観光ホテルについて、地元住民には低料金で公開するべきだ。また、ビデオについては出前出張等の方法で公開するべきだ。	(意見)	
国保税はなぜ上げなければならないのか。	今まで積み立てした基金が不足してきたためである。	
市役所移転になぜ賛成なのか。コンパクトに分散した方が良いと思うが。	12 月議会では否決されたが、2 月議会では賛成者が 3 分の 2 以上あり可決された。	
魚菜市場の店舗数が減少しているが、どうなっているのか。	市民の台所的存在で、鮮度は良いのだが接客態度への不満や値段が高い等客足が遠のいている。売り上げ減少、後継者がいないなど店舗数が減っている。	
職場がない、物価が高い等で人口が減少している。大企業を誘致するべきでないか。また看護師学校を新たに設立するべきだ。	企業誘致はしているが企業が希望する条件と合わない。	
現在残土置き場になっている青野滝地区に老人ホームを建ててほしい。	(要望)	
仮設住宅を何棟か残し、観光客などに公開してはどうか。また、段ボールでの生活を子供たちに経験させたい。	(意見)	
仮設住宅跡地をグラウンド・ゴルフ場にしてはどうか。	仮設住宅は来年度撤去の予定になっているが、跡地利用については今のところ計画はない。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
立ち入り禁止となっている真崎海岸を早く解放してほしい。	(要望)
田老三王災害住宅（戸建て）で、駐車料金を徴収したり、しなかったりするの はおかしい。	不公平が生じないように関係当局に申し入 れる。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 24 日(火) 19 時 00 分～21 時 00 分 会場:磯鶏公民館	12 名	〔1 班〕 田 中 尚 北 村 進 佐々木 清 明 佐々木 重 勝 藤 原 光 昭
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
主な新規事業の中で船場踏み切りとあるがどこにどのようにするのか。	磯鶏実田船場踏み切りに遮断機を設置し、人が通る 182 cm幅の通路を作るものである。	
緊急時に車が八木沢に避難する通路がない、検討を願う。	(要望)	
宮古はアパートの家賃が高いと言うが対策として何をしているか。	災害公営住宅についてもいずれは市営住宅となるが、たとえば民間のアパートを借り上げし、若者に貸し出しするなどを提言している。	
宮古市は給料体系が低いことも影響していると思う、と同時に住みやすい環境を作ることが大切ではないか。	そのとおりであり、特別委員会でもそのような方向で踏み出すよう取りまとめ、提言している。	
アパートの利用者が少ないのは、エレベーターがないのも原因ではないか。	近内、あるいは本町の公営住宅にもエレベーターは設置されており、今後全部設置される予定である。	
ありふれた提案ばかりだ。以前、福祉の充実を掲げ取り組んだ経過があるがそのようなことも必要だ。	若者が宮古に住み、所得を上げ、定住することがポイントだ。地域の経済を元気にすることが大切と思っている。	
観光船について、浄土ヶ浜の発着は不評だ。出崎地区のなあとから発着すれば利用が増えるのではないか。	そのような計画となっている。	
未婚者が多い。結婚しても、すぐ離婚して生活保護となるようなケースが多い。何とかならないものか。	(意見)	
高校生が、卒業後地元に残るような制度を行政で考えるべきだ。	農林水産業の担い手確保事業として、若者を対象に取り組んでいる。	
企業誘致の計画はないのか。	花輪地域の田鎖地区を工業団地の受け皿としている。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
石崎の向かいの防潮堤にタイルのデザインがされているが、大分汚れている。清掃をしてほしい。	(要望)
老人憩いの家の料金について、市の負担を少なくして利用者負担とすべきと思うがどうか。	考え方としては、利用者に適正な負担をしてもらうことはそのとおりだ。私たちとしてもしっかりと議論していかなければならないと思っている。
東日本大震災の記念碑等を設置しようと考えているが、チリ地震の兼ね合いもあり、行政の補助はないものかと思うがどうか。	チリ地震の兼ね合いもあり交渉する。
災害公営住宅について、管理人も決まらず、個人情報保護法、自治会の兼ね合いもあり、入居者と連絡がつかない状態である。何とかできないものか。	(意見)
八木沢川の支障木を何とかできないものか。	県の管理であるが、八木沢に限らず毎年県に統一要望している。
藤の川防潮堤の工事についていろいろ変更の要望がされたようであるが、どのように決まったのか。	2月の県議会で「当初の計画のとおりで工期並びに工事施行者も決定している」とのことであった。
藤原埠頭に前だし防潮堤を建設中であるが、管理者が決まっているのか。もし消防団が管理するとすれば、少ない人数の中で危険を伴うと思うがどうか。	県の社会資本の復旧・復興ロードマップにより建設工事が進められているが、管理体制は決まっておらず事業完了後に消防団及び関係者と協議のうえ、管理体制を決定すると聞いている。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 25 日(水) 19 時 00 分～21 時 05 分 会場:花輪農村文化伝承館	18 名	〔1 班〕 田 中 尚 北 村 進 佐々木 清 明 佐々木 重 勝 藤 原 光 昭
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
ふるさと納税はどのくらいか。	昨年の実績であるが、返礼品の充実を図ったところ非常に伸びており億単位の寄附を頂いているところである。平成 28 年度の予算では 5,180 万円の返礼品等予算を見ている。このことから、ふるさと納税は約 3 倍の 2 億弱を見込んでいる。	
企業誘致について説明があったが、実績が見えない。若者が定住しない要因ではないか。	大きな実績といえば、昭和 40 年代のヒロセ電機で、それに伴っていろいろなコネクタ関係の企業がある。その他では、規模は小さいが田老地区に、関西方面から神野商店が来ており、乾しあわび等を生産している。	
企業誘致といっても、市の方針が見えない。	大企業の誘致は現在のところ難しい。議会としては、地元の身近な産業、食産業にターゲットを絞りこんだ提言をしている。	
宮古港は大船渡港に比べ取り扱いが劣っている、風呂などの利用についても不便だ。	水揚げ増大に関しては、議会の提案が実ったものがある。海洋深層水利用に対し助成をしており、好評である。	
補助事業に取り組むとなると事務手続きが難しく、専門的事務が必要となる。	(意見)	
小規模農家として、農業政策の恩恵が感じられず苦しんでいる。また、農協も以前のように農家と向き合ってくれない。	市の農業振興策としては、新規就農対策をはじめ、種苗、種菌、ほだ木等、県下でもトップクラスの農業経営のための補助制度がある。活用願いたい。	
県道宮古港線の社会福祉協議会付近に横断歩道があるが、閉伊川緑地公園(ふれあい公園)から通れるよう階段を設置してほしい。	(要望)	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
農林業の話がなかなか出ないが、企業誘致の中になにかないものか。	林業振興では、川井のウッティが中心となり、チップを燃やし電気を起こす取り組みをしている。併せて地域木材を活用した住宅の普及のための補助金制度もある。さらに、今年度より、雇用と経済に役立てることを目的として、森林組合を中心とする協議会が設立された。
建築職人育成のための補助制度の充実について、各議員が共通認識を持って取り組んでほしい。	(要望)
高校卒業後、地元に残るような呼びかけも必要ではないか。	実業高校の生徒は、地元に残りたいとの意識に変わってきているが、地域の賃金水準の嵩上げが課題となっている。
赤前の総合運動公園について、現在どのように進められているのか。	震災を教訓として、避難路を充実し元の位置に平成 29 年完成の計画とされている。
長沢地区の消防第 18 分団屯所から右側に入る道路は、工事が中断してから 4 年以上も経過しているがどうなっているのか。	市当局を確認して報告する。
花輪出張所側付近から中学校付近までの歩道の路面が劣化している。通学路でもあり危険がないよう整備してほしい。	(要望)
前回の市議選は無投票で、議員の顔も解からず、取り組み姿勢も解からない。なぜ選挙公報を発行しなかったのか。	改選後、議会報で顔ぶれは紹介した。選挙公報については、選挙がなかったので発行していない。
仮設住宅の解体はいつ頃か。	今年度から解体予定である。学校、民有地、公園の順に計画されている。
赤前運動公園について、若者が集まれて、1 ヶ所でいろいろのスポーツができるような施設として整備できないものか。	議会では、別な場所に総合的な施設をと提案したが、場所を変えると新規取り組みとなり国の災害復旧交付金が得られないことから、従来 of 場所及び内容となった。
宮古～室蘭間のフェリー定期航路開設について説明があったが、メリットとして何があるか。	三陸沿岸道の無料化に加え、トラックドライバーが 8 時間の休息時間を取れる時間帯での運航と聞いている。宮古においては観光振興が期待される。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 23 日(月) 19 時 00 分～20 時 30 分 会場:赤前コミュニティ消防センター	8 名	〔2 班〕 落 合 久 三 古 舘 章 秀 鳥 居 晋 加 藤 俊 郎
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
赤前地区に公民館がないので、建設を要望したい。	公民館、地区センター、コミュニティセンター等、施設によって建てる場合の考え方や受益者負担等に違いがある。地区としての考え方をまとめ、市に要望したほうが良いと思う。	
この地区は、この場所（赤前コミュニティ消防センター）しか地区住民が集まる場所がないが、230 世帯の集会施設としては小さすぎる（狭い）。施設の名称、種類は何でも良いので、地区住民が集まれる集会施設を建設するよう要望したい。	（要望）	
藤畑からヒロセ電機に通ずる市道を避難道路として利用できるように拡幅の要望を市にしているが、動きもなく、市からは何の連絡もない。 ※市への要望は赤前地区の復興まちづくり検討会の場と思われる。	市に伝える。	
中心市街地拠点施設整備事業について、市庁舎移転が議会で可決されたが、その理由は何か。	市役所の移転は、議員の 2/3 の賛成を必要とする特別議決である。最初は、2/3 の賛成が得られず否決となったが、拠点施設用地への道路アクセスの改善等が市から示されたことなどから、臨時議会で 2/3 の議員の理解が得られ、可決となったものである。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 24 日(火) 19 時 00 分～21 時 00 分 会場:川井生涯学習センター	7 名	〔2 班〕 落 合 久 三 古 舘 章 秀 鳥 居 晋 竹 花 邦 彦 加 藤 俊 郎
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
宮古市いじめ問題対策委員会条例の内容はどのようなものなのか。	いじめ防止対策を内容とする条例ではなく、いじめがあった時の対策委員会（第三者委員会）を常時、設置しておくもの。	
不登校児童数の状況はどうか。	不登校児童の定義は、長期間、学校に登校していないというもの。昨年度の調査では、一昨年より少し増加となったように記憶している。小学校の不登校児童数は 10 名程度であったと思う。	
いじめ等についての相談先などを情報発信してほしい。また、学校もアンテナを高くしていじめ防止につなげてほしい。	（要望）	
川井診療所の医師は、新里の医師住宅から通っており、緊急の場合に医師が不在で受診できない場合がある。医師は川井に住むべきではないか。診療時間外に具合が悪くなって、診療所に連絡したら、宮古病院の救急に行くように言われた。宮古病院に連絡したら、なぜ診療所で診てもらえないのかと言われたが、診療所から診察できないと言われたと話すと、来ても良いと言われ、宮古病院の救急で受診することができた。緊急時に医師が不在で診察してもらえない。大変な事態が起きたときにどうするのか。何か起きてからでは遅いのではないのか。 （参加者から、医師が新里から通っていることについて、「家庭事情等からやむを得ない。理解すべき。」との声も上げられた）	外来診療時間外での救急患者への診療対応は行っていないのではないかと。 川井診療所は市立診療所で唯一入院ベッドを持っており、夜間等に入院患者に緊急事態が起きた場合の対応を含めて、市から確認し連絡する。 （後日、伊藤健康課長から聞き取り連絡） 診療時間外の救急診療は行っていないので、宮古病院での救急を利用してもらうことになる。ただし、入院患者に何かあった場合は、医師がかけつけて対応するようにしている。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
高齢化で若者がいなくなり、市道の側溝蓋上げができず、側溝清掃が困難になってきている。市で側溝清掃の実施ができないか要望する。(場所は川井診療所付近) 側溝蓋の吊り上げ機を借りても、機器の操作もうまくできない。	市に連絡をすれば、側溝蓋の吊り上げ機器を貸してもらえる。 川井地区の道路管理は、川井総合事務所となっている。総合事務所に直接連絡して側溝清掃を頼んだ方が良いと思う。こちらからも市（総合事務所）に伝える。
テロ防止対策の看板が国道４号線沿いには多く見られるが、106号には２箇所しかない。宮古市はテロへの警戒心が薄いのではないか。国体もある。テロが起きてからでは遅い。宮古市の広報等を見てもテロ防止に関する活字が出てこない。市は安全対策を考えているのか。	海上保安庁と県は、出崎埠頭で年１回、水際対策訓練を行っている。 宮古警察署長の話を聞く限り、宮古市で今、テロが起きる可能性はないのではないかなと思う。
国道３４０号道路改良（立丸峠）整備に伴う「道の駅」構想について、道路整備後は交通量が増加し、交通事故も多くなることが心配される。携帯電話が通じれば事故が起きた場合にすぐ連絡ができ、対応が可能になる。上湯沢地区は携帯電話の不感地帯であり解消すべきと思う。	(意見)
小国地区では、小国小学校跡地を利用して「道の駅」構想が論議されている。地域づくり委員会の広報誌で、市へ要請書を提出したとあったが事実か。 小国地区の構想では、産直施設を造りたいと考えているようだが、３人しか希望者がなく川井地区まで広げて募集をしているようだ。小国小学校ではなく、江繋小学校跡地の方が場所的に良いと思う。ただ江繋地区は先頭に立って運動する人がいない。	市長に要請書の提出があったと聞いている。国道３４０号線の道路改良整備に伴い、市もトイレ、休憩施設等の整備が必要との認識はあるが、具体的構想の段階にはまだ至っていない。江繋小学校跡地を活用すべきとの意見があったことは市に伝える。
区界の道の駅が廃止されるとの報道がされたが、宮古・盛岡横断道整備によってどうなるのか。	道の駅は県の施設であるが、レストランのビーフビレッジは市の施設であり、市の公共施設再配置計画の中で、大規模改修が必要になった時にどうなるのかという課題がある。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
J R 山田線（宮古・盛岡間）の復旧工事が林野庁も参加して行われることになった。ただし、国体までの復旧は無理とのことだ。（情報提供の立場での発言）	市からは、議員全員協議会で報告があった。議会としても、一日も早く復旧・開通ができるように市や市民と一緒に頑張りたい。
川井地域バスが運行されているが、もっと工夫をして利用客が増えるようにすべきではないか。	地域住民の足を確保するためにはなくてはならないバスであると思う。課題は多くの人に利用してもらうことだ。議会としても、デマンドを含めて地域交通のあり方を議論、研究している。
市のバス借り上げ利用について、昨年まで、川井地区のお祭り（むつみ祭）に総合事務所からバスを借りて、各地区から参加してきた。今年はバスを貸せないと却下されたが、なぜできなくなったのか。	市から理由を聞いてお知らせする。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 5 月 25 日（水） 19 時 00 分～21 時 20 分 会場：鯨ヶ崎公民館	17 名	〔2 班〕 落 合 久 三 古 舘 章 秀 鳥 居 晋 竹 花 邦 彦 加 藤 俊 郎
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
鯨ヶ崎地区の復興が遅れている。漁業のまちで、廻来船の水揚げが 30～40 億円もあるのに、コンビニも、風呂も、銀行もない。魅力あるまちづくりとは各種サービスが整っていることだ。釧路のフィッシャーマンズワーフのようなシンボリックな建物を公共の力で整備し、活性化を図るべきではないか。水産業、観光の振興に向けて市はどのように考えているのか。	復興まちづくり検討会で、鯨ヶ崎地区のまちづくりについてどう議論されてきたのかということがあると思う。 廻来船乗組員の福利厚生施設としての番屋が、日本財団の支援で復旧整備されたが、シャワーだけでなく風呂も必要との声も上がっている。こうした声もあって、漁協では小さな浴槽を設置した。七滝湯も再建をめざしたが、後継者の問題もあって再建を断念したと聞く。	
水産加工団地は、土地価格が 12～13 万円と高いので、企業は高くても買えないのではないか。廻来船誘致には、補給物資を積めるような機能を高めることが必要と思う。	区画整理事業で、水産加工団地として 6 区画の用地を整備したが、3 区画の申込みにとどまっている。鯨ヶ崎地区は漁業・水産振興を中心にしたまちづくりを進めていくべきだと考える。	
予算特別委員会の審査で、老人憩いの家（小田代山荘・安庭山荘）使用料の値上げを考えるべきとの質問があったとあるが、利用者にとって安いのは魅力である。 高齢になるとあちこちが痛くなり、憩いの家は健康にとってもありがたい場所だ。使用料の値上げはしないほしい。	予算特別委員会での質問の意図は、このままでは赤字で廃止の検討もしなければならなくなることから、少しは使用料を値上げしても存続すべきという思いからのものである。小田代山荘は合併前には入湯税をとっていなかったが、合併後は入湯税を含めて 150 円（同じ料金）となっており、市の実質収入は減少している。	
区画整理事業の進捗により家が建ってきたが、ごみ集積所がなく困っている。市に要望しても、「自治会の再建やまちづくりの進捗状況を注視して対応する」という回答で市は何もする気がない。	市に連絡をして、直接収集をしてもらう等、話し合いをした方が良いと思う。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
観光客から魚菜市場のサービスが悪いとの声が聞かれる。盛岡や一関の人からも言われた。テナントも減っている。宮古市の観光にとっても大事な場所だが、市として魚菜市場を元気付ける対策が必要ではないのか。	魚菜市場は協同組合（民間）で運営しており、行政の直接関与は困難であるが、観光客の受け皿にもなっている場所である。最近では、テナント店の撤退が続いており、観光客等も減少状況にあると思っている。建物の老朽化により水周りの悪さも懸念されている。販売値段も安くないとの声も聞こえてくる。また、駐車場は借地で、あと2年で契約が切れることから、駐車場問題も大きな課題となっているようだ。 運営やサービス面の問題は、第一義的には事業者と協同組合で話し合い、改善されるべきものとする。議員が理事長であることから、厳しい指摘があったことを踏まえ、改善を図るように伝える。
市内の道の駅の産直施設の品揃えや品質確保について、市は行政指導を行うべきだ。田老の道の駅の産直施設は、地元の物でないものも多く、野菜の品質も良くない。	田老の道の駅の産直事業者の協議会では、研修等も行い努力している。それは理解をしてほしい。
昨年、高齢者の振り込め詐欺事件が宮古でもあった。今年も後期高齢者の医療還付をめぐる詐欺被害があった。市は、被害防止に向けて、もっと注意喚起を図るべきだ。	（意見）
昨年の宮古港開港 400 周年事業は、Sea 級グルメ中心で、他のイベントや事業メニューの全体内容が市民に伝えられたのが遅すぎた。2～3 ヶ月前には周知が図られていなければならないが、総合的なコーディネートが図られていない。今年は国体が開催されるが盛り上がりには欠けている。市の対応が遅い。	（意見）

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 23 日(月) 19 時 00 分～21 時 00 分 会場:重茂公民館	10 名	〔3 班〕 茂 市 敏 之 松 本 尚 美 小 島 直 也 中 島 清 吾 坂 本 悦 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
赤前の運動公園はいつできるのか。	遅れが心配されている。	
過日、田老野球場で少年野球等のイベントがあったが、そういう事は広く市民に周知するべきだ。	学校単位での呼び掛けで行ったようだ。	
市議会は、復興道路の完成による経済効果について研究しているか。	無料供用の効果は大きいと思っている。	
廃校後の校庭などを使って、企業誘致は考えられないか。	工業団地の計画はいまだに低迷している。	
議会で採択された陳情などの案件はどうなるのか。	県、国など関連機関に提出している。	
音部地区に道路(橋)がない場所があり、住民は墓参りができずに困っている。	造る事は決まっているが進んでいない。造っても市道として認められない。市に伝える。	
空き家対策をしっかりとやるべきだ。	(意見)	
館地区の漁協の裏の私道を広げて、市道に格上げしてほしい。災害時には避難道路になる。	(意見)	
たろう観光ホテルの震災遺構としての、維持管理が大変ではないか。	震災遺構の維持管理に使ってほしいと、ふるさと納税をする方もいる。	
仮設住宅の撤去を急いで、校庭を早く元どおりにしてほしい。	県の事業だが、集約が遅れていることは事実だ。	
普段、スクールバスを使わない児童、生徒に対して、緊急時には乗せるなど柔軟な対応を望む。	(要望)	
川代、姉吉地区が限界集落になりそうで心配だ。	(意見)	
鮎ヶ埼灯台の案内板など、重茂半島の観光事業が行き届いていない。	(意見)	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
10 年後の漁業者の姿を考えてほしい。	(要望)
賃金格差、家賃の問題、空き家対策の問題に取り組んでほしい。	(要望)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 24 日(火) 19 時 00 分～20 時 45 分 会場:崎山公民館	8 名	〔3 班〕 茂 市 敏 之 松 本 尚 美 小 島 直 也 中 島 清 吾 坂 本 悦 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
各議員は、SNS などを使って政治について主張すべきだ。市議会のホームページには載せることができないのか。	公平性に欠けるので発信できないと思う。	
議会だよりの文章表現を工夫してほしい。質問の説明に命令口調は使うべきではない。市民に解りやすい紙面づくりをしてほしい。	字数の制約などがあるためそのように表現するときがある。	
第二中学校と崎山中学校の統合の話があるが、崎山中学校に統合した方が良い。そして鉾ヶ崎小学校を第二中学校に持ってくれば良いと思う。	宮古市の小中学校適正配置について、議会も積極的に検討していきたい。	
崎山地区内にある私道は大きな穴があり、改修が必要なところがある。	私道は、市では関与しない。	
教育民生常任委員会の活動が見えない。学校や病院を訪れるべきだ。	そのように努める。	
大付地区から小中学校に来る通学路があり、一般市民も生活道路として使っている。現在私道ではあるが、市道に認定して改良すべきだ。	(要望)	
崎山地区を宮古市のモデルにして、地域力を生かしたまちづくりをしたい。崎山は環境が良好で、大学など誘致して再開発するような地区にしたい。	現状は計画的に開発されておらず、将来像を作り直す必要がある。	
復興道路の工事途中で頻繁に開通式などの祝賀行事は、税金のムダ使いともいえる。慎むべきだ。	工事業者の方針だと思う。	
崎山地区の住居表示を早くするべきだ。	3,500 世帯の表示には時間がかかる。新しい住居表示に反対者もいるようだ。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
常安寺の私道は利用率が高い。改良の余地はないのか。	私道のため何もできない。
早稲栃地区の 6 件の上下水道が整備されていない。地下水を利用しているが鉄分を多く含んでいる。200mの長さはあるが工事が求められている。	市民が困っているのであれば工事の可能性はある。
各常任委員会委員の任期は、2 年を守るべきだ。	再任は妨げないとしている。
常任委員会活動は充分できているのか。4 年間しっかりやる方が良いのではないか。	検討していく。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 25 日(水) 19 時 00 分～21 時 00 分 会場:山口公民館	9 名	〔3 班〕 茂 市 敏 之 松 本 尚 美 小 島 直 也 中 島 清 吾 坂 本 悦 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
館合町の一石様から市内が一望できる。そこからの眺めを見ながら、宮古の将来像を描くべきだ。宮古がどうあるべきか、良いアイデアが浮かぶと思う。夢を持つべきだ。	(意見)	
魚菜市場が低迷している。何とかならないものか。	観光の面において、あまり良い状況ではない。	
新しいフェリー航路より、苫小牧の方がよかったのではないか。	苫小牧港はバースが満杯のようだ。	
過去に現市庁舎の改修をしているのに、なぜ移転するのか。	耐震化工事に 15 億円かかる。4 年前に議会側が、「浸水地域以外に移転すべき」と提言した事から移転計画が決定された。	
野球場のイベントの後の掃除がなっていない。	市に伝える。	
西町 1 災害公営住宅入居 58 世帯の中で高齢者世帯が 20 世帯もあり、子供がいる世帯が少ない。	将来、公営住宅には、一般の市民も入居することになる。	
春、秋の清掃週間の際の、側溝の泥上げが大変になっている。高齢化で蓋を上げるどころではない。	蓋を上げる道具がある。市に聞いてみる。	
宮古市は介護都市を宣言したらどうか。	今は復興が最優先だと思う。	
つつじヶ丘公園から岩間耳鼻科に通じる堰にコンクリートの蓋があり、泥を上げられない。	市に伝える。	
市からの助成金の使途について、町内会、自治会は毎年報告の義務はないのか。	市に伝える。	
市長自らが無線で市民に呼び掛けているが必要ないと思う。市長の売名行為だ。	市長の励ましで元気をもらっている市民も多くいる。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
防災無線の音量を大きくしてほしい。小沢２－７の周辺では、スピーカーが下を向いていて、約 80 件の家が聞こえにくい状態だ。	市に伝える。
将来、生活保護世帯が増えるのではと、危惧している。	(意見)
生活保護受給者の指導、点検は、担当者一人でやっていて、行き届かないところがあるのではないか。	市に伝える。
魚菜市場の低迷、とりわけ閉店時間の早いことなどについてどう思っているか。	民間の団体なので、議会は口出しできない。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 23 日(月) 19 時 00 分～20 時 30 分 会場:基幹集落センター (刈屋)	11 名	〔4 班〕 佐々木 勝 内 舘 勝 則 坂 下 正 明 白 石 雅 一 伊 藤 清 須賀原 チエ子
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
一般質問は持ち回り制等順番があるか。	特にない。	
毎回一般質問する人がいる一方、一切しない人もいるのはなぜか。	一般質問は持ち時間が 1 時間。その中でテーマを持って各議員が質問している。 各々が自分の考えのもと、市民の代弁者として、一般質問を行っているのではないかと思う。	
壇上に立つ議員が一般質問している最中他の議員は興味を持って聞いているのか。よそ見をしたり別なことをしているのはいかなものかと思う。	(意見)	
各委員会日程を広報等で周知してほしい。	(要望)	
前回の和井内での議会報告会で気になったのだが、安庭山荘が古くから地元住民の憩いの場になっているのに、そこを廃止前提で話をするのはおかしいと思う。	地域の人たちの思いが無視されるような議会や市政ではいけないと感じる。最大限今の施設を有効利用できるよう、今後検討していきたい。	
前回の和井内での説明会で、議員報酬が少なく生活が大変という答弁があったが、それはおかしいのではないだろうか。	議員の資質の問題だと思う。全くそのとおりだと感じる。	
若い人を出すため、定数を削減し報酬を上げるべきだ。	報酬は報酬審議会で決まる。定数や報酬については、今後も議会で検討課題として取り組んでいく。	
地域の議員が報告会に来ないので、議員の方を身近に感じるができないし、地域のことを話題にすることができない。地元議員が意見交換会に来られるようにしてほしい。	(要望)	
議員数が削減された場合、地域から出られなくなる可能性もあるので、地域ごとの議員定数があってもいいのではないか。	(意見)	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
人口推計の生産年齢人口、老年人口という表示の仕方はおかしいのではないか。70 歳過ぎてても現役で働いている人はたくさんいる。	(意見)
刈屋基幹集落センター近くの倉ノ澤橋に鉄筋が入っていないという話なので、詳しく調査してほしい。	(要望)
地域の小学校が統合し新里小学校となったが、それにともなって交通量が増えた。通学路の橋や道路に歩道をつけてほしい。	(要望)
今年の予算説明書の中に、漆畑線の道路改良工事が入っているが、どういう経緯でそうなるのか。	建設常任委員会で決めているのではなく建設課で年次の改良計画を作っている。合併前の改良計画も生きている。
漆畑線周辺の道路はどうなるのか。	詳細は担当課に聞いて回答する。
人口減少対策の具体的な施策をどのように考えているのか。	まちひとしごと総合戦略は作ったが決定的な施策はまだだ。オリジナリティのあるものを作らないといけなと感じている。定住化促進対策特別委員会では各部会を作っているが、提言を出しただけではなくその経過を見ていかないといけない。
宮古市はもっと地域振興に力を入れていかなければならないと思う。市長がリーダーシップを発揮して広報活動をもっと行ってほしい。	(要望)
フェリー就航が決まったが盛り上がり欠けるような気がする。フェリー航路や三陸道などを意識した活性化対策をしてほしい。	(要望)
今後の災害公営住宅建設予定はどこか。	山口が最後となる。
仮設住宅の集約化は進んでいるのか。	入居者が全員退居しないと建物は撤去できないが、集約自体は進んでいる。
猟友会の支援金を上げて欲しい。駆除するにしても距離が長くガソリン代が想定以上にかかる。	(要望)

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
片巢の道路にある電気牧柵は鳥獣対策だと思うが、効果があるとなれば継続してやるのか。	県のモデル事業だが、効果があれば継続するのではないかと思います。地主との協議も必要と思う。
道路や畑近辺の無駄な木や草を刈ったら鹿などが来なくなったという実験もあったと聞く。そのような方法を取り入れても良いのではないか。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 24 日(火) 19 時 00 分～20 時 30 分 会場:千徳公民館	12 名	〔4 班〕 佐々木 勝 内 舘 勝 則 白 石 雅 一 伊 藤 清 須賀原 チエ子
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
市役所移転案についてだが、12 月議会では否決された。2 月に可決されたのは、どういう状況でどのように判断されそうになったのか。	震災後、特別委員会を立ち上げ被災しにくい場所への移転案が前々からあった。当初、当局側の説明不足部分が多く、議員の理解を得ることができなかった。その後、当局からの丁寧な説明があり、結果として可決された。	
議会だよりに、「用地取得に賛成して、移転に反対するのはおかしい」とあるが、これはどういうことか。	建設のための用地取得に賛成した議員が、その用地への移転に反対するのはおかしい、という意味。	
子どもたちの遊び場が宮古市内に少ないので、スケート場のような所がほしい。	(要望)	
細い道路を工事車両が無理やり通っていく。道路であればどのような場所でも通って良いのか。	現状を把握し担当課に確認する。	
シートピアなあどのタラソテラピー施設を復旧してほしい。	(要望)	
三陸海岸として観光復興が必要だと思う。宮古は観光客に冷たい。観光客が使いやすい交通網がないと思う。三陸鉄道を活かした観光復興を考えてほしい。	(要望)	
室蘭・宮古間フェリーが就航されるが、関連企業誘致とはなにか。	車の関連企業や宿泊業、倉庫業や運送業、観光産業などの物流に関連するものが考えられる。	
J R 山田線盛岡・宮古間への対応はどうか。	ボーリング調査を行い、現在地盤調査している。106 号線を止めないでどのような工事ができるか検討中である。国体に間に合うようにという意見はあったが間に合いそうがないとの事だった。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
J R 山田線の早期復旧をお願いしたい。	(要望)
自前で作った集会所や会館と、市で作った集会所や会館との公平さをもっと考えてほしい。大田地区では次に会館を作るときに自費では難しいだろう。	(要望)
地区会館の作りが高齢者に優しくない。入口が急に高くなっていて使いづらい。高齢者が集まれない場所になってきている。	(意見)
新里小学校になり、地域の各小学校が廃校になったが、廃校の利活用策はどうか。	まだ決まっていない。各地域でどのように活用していくかが課題となっている。
廃校になった学校を福祉施設にしてはどうか。	(意見)
観光に力を入れてほしい。せっかく風光明媚な環境があるのに活用しない手はない。	(要望)
保育所の開所時間が延びたが果たしてそれは良いことなのか。家に帰ってから親子でのふれあう時間が短くなり、家庭での子育てが大変になるのでないか。そうであれば、企業の子育て支援策の充実が必要なのではないか。また、保育所任せにならないよう、子育ての大切さ、大変さを若い人に教えてあげてほしい。市でも「無理な部分は無理」と毅然とした対応をとってほしい。	(意見・要望)
議会報告会の持ち方だが、希望としては定例会ごと年４回開催してほしい。	(要望)
人口減少が宮古の市政に重大な影響を与えている。高校再編や子どもの貧困など今後の宮古市をどのように考えていくのかが議員の仕事だと思う。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 25 日(水) 19 時 00 分～20 時 30 分 会場:津軽石公民館	16 名	〔4 班〕 佐々木 勝 坂 下 正 明 白 石 雅 一 伊 藤 清 須賀原 チエ子
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
平成 25 年の宮古市事業にあった館山都市公園の整備について、避難場所にもなっているので継続してほしい。	(要望)	
Wi-Fi の公共施設設置とはどのようなことか。	Wi-Fi という無線電波を飛ばして、スマートフォンやパソコンで、誰でもインターネット接続できる環境を公共施設に配置する計画である。	
津軽石口の宮古方面に行くバス停に外灯が無いのでつけてほしい。震災前はあった。	(要望)	
外灯が切れた場合の蛍光灯は LED にならないのか。交換した際はカサを掃除してほしい。	(要望)	
働く場所の確保について、市民も交えて提言を行うべきではないか。	(意見)	
出生率が上がっていると報道されているが、保育所や保育士確保など子育て環境を整備してほしい。	(要望)	
仮設住宅の集約や解体はなぜ難しいのか。	仮設住宅に入居している人がいると解体することができないので、集約解体がなかなか進まない。	
赤前小学校の校庭で運動会を経験できない児童がいる。早く仮設住宅を撤去してほしい。	(要望)	
跡地利用費用の 1000 万円の使用用途はなにか。	調査費である。	
津波慰霊碑を建てる計画はあるのか。	計画はない。庁舎跡地利用で建てる案もある。	
津軽石や鉾ヶ崎などは、慰霊碑を建てるべきだ。	(意見)	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
津波被災後に整備された田んぼをそのまま放置している場所がある。どうにか活用しないといけないのではないかと思う。	田んぼの利用については、農地所有者の考えによると思う。
公民館周辺の環境だが、暗いので外灯を設置してほしい。駐車場も足りない。	(要望・意見)
人口比率から考えれば、津軽石公民館の駐車スペースが少ない。検診車等の駐車は大丈夫か。駐車場は 30 台分くらいはほしい。	(要望)
市庁舎跡地利用は税収が見込めるものが必要。	(意見)
鮭がのぼる津軽石川を活用した地域活性化案を出してほしい。	(要望)
藤原埠頭の活用として、世界から集まる魚を集約出来るくらいの港にしてほしい。	(要望)
防災無線で午後 5 時のチャイム以外で、子どもが帰るような放送をしてほしい。	(要望)
大森川、下町の川、馬越の川が J R と交差するところの管がそのまま、大雨が降ると溢れてくる。J R の工事が始まる前にどうにかしてほしい。	(要望)
根井沢川の線路下も瓦礫が詰まりやすいので直してほしい。	(要望)
地盤沈下した箇所を、防災の観点から周知する必要があるのではないか。	(意見)
山林の保全対策を宮古市だけではなく、山田も含めた地域全体で行ってほしい。	(要望)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 23 日(月) 19 時 00 分～20 時 45 分 会場:宮古市役所	16 名	〔5 班〕 長 門 孝 則 工 藤 小百合 今 村 正 橋 本 久 夫 高 橋 秀 正
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
『議会だより』に掲載されているが、議員の欠席の理由は何か。	インフルエンザのため欠席したもの。	
議員の辞職に伴う市議会の補欠選挙はないのか。	地方自治法により、次期市長選にあわせ議員の補欠選挙が行われる。	
鍬ヶ崎地区の防潮堤整備は反対、賛成がある。意見はまとまらないものか。どちらが正しいのかわからないが、あそこまでできればやらざるを得ないと思う。	なかなか意見はまとまらない。それぞれに理由がある。住民総意のもとで良い方向にもって行ってほしい。	
浄土ヶ浜レストハウスの椅子は、移動の際、床との接触でうるさい音をたてる。なんとかならないか。(文書をもっとの要望)	管理は観光文化交流協会が行っている。市の担当課を通じて改善を求める。	
山口川の末広町、黒田町付近にかけて汚れがひどい状態だ。改善を望む。(文書をもっとの要望)	かつては浄化整備を行い、鯉も放流した。しかし、大雨や津波等の影響で悪化している。放置されている状況なので担当課に改善を申し入れる。	
かつては山口川の清掃、黒田町のトイレも清掃している方がいた。花壇もあったが、今はない。	(意見)	
先般の地震で地盤が下がっている。その対策はあるのか。	地盤沈下で山口川は上流まで潮が上がっている状況だ。新川町付近も震災後かさ上げした。浸水はしなくなったが、満潮時には上がってくる状況が続いている。地盤沈下は各所にあり、明確な対策はない。	
閉伊川にゴミが流れてくる。その対策もあるのか。美化運動に務めてほしい。	(要望)	
小山田地区にある市の土地を地域の人が清掃している。これらに対する補助はないのか。	担当課に伝える。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
今回の議員の不祥事に関し、やはり無投票はダメだと感じた。議員は気を引き締めてほしい。	(意見)
定住化対策は本気で考えてほしい。	20 年後は人口も 4 万人台となる。財源の状況でこれからどういう投資をするか、議会も注視していく。
J R 山田線の復旧状況はどうか。利用者は不便を強いられている。	まだ開通ははっきりしていない。国体までには開通とのことだったが、工事が大掛かりになり目途がついていないようだ。
廃校となった学校施設や跡地の活用はどうなっているか。	跡地や施設の活用はこれからの課題。企業進出も可能であればいいのだが。土地の有効利用は市や議会でも検討している。
現市役所庁舎はある集会で使えると言っていた。壊すのはもったいないと思う。	市の方針としては解体する。例えば企業がこのままの状態で活用したいところがあればとも思うが、耐震性がなく危険である。耐震補強にもお金がかかる。皆さんからもこの跡地利用をどうしたらいいか意見を出してほしい。
少なくなる財政の中で、現施設を有効に活用すべきだ。子どもたちに負債を残したくない。必要なものにお金を使ってほしい。無駄使いはダメだ。人口減少に対し移住を求めるならここでしかない施策を展開してほしい。宮古は医療機関も遅れている。	(意見・要望)
浄土ヶ浜の車の乗り入れ規制を解除してほしい。	要望は受けているが、環境省側の規制もある。今後も要望はしていきたい。
震災後の再建のためのグループ補助金の支払いが始まった。しかし、返済が大変な状況のようだ。また、魚菜市場の店舗が数軒撤退しているが原因は何か。	経営は市ではないので何とも言えない。それなりに頑張っていると思うが、お客さんの声に耳を傾けて、市民との交流の場にもなってほしいと願う。
山田線の再開問題について、観光客や高齢者などの視点にたって状況を把握し、議会側も何度でも J R に強く働きかけるべきだ。	(意見)

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
魚菜市場の問題だが、カートもあれば車イスもあるのだが、誰の目にもつかないし、利用されていない。トイレ表示もなかなか分かりづらい。今までのやり方が当たり前のような感覚であればダメだろう。考え方を切り換えてほしい。	(意見)
議会の会派は国政と連動していないのか。国政に強く要望できる仕組みではないのか。	(意見)
津波遺構のたろう観光ホテルに多くの人 が来ているようだ。これらの維持費はどう なっているのか。今後の来場者の見込みは どうか。	維持費はふるさと納税や寄附金などを充 てる。修学旅行生も訪れ、先日 10 万人を記 録した。「学ぶ防災」ツアーのプログラムに も組まれているが、看板表示がない。早めの 整備を求めたい。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 24 日(火) 19 時 00 分～20 時 45 分 会場:三王地区自治会研修センター	5 名	〔5 班〕 長 門 孝 則 工 藤 小百合 今 村 正 橋 本 久 夫 高 橋 秀 正
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
議会報告会は 10 回目の開催というが、前回までの各種問題、要望に対しての回答はないのか。	報告会で受けた要望等は担当課に伝え、その結果を本人にも伝えている。昨年の要望についてはここで改めて説明、回答したい。(質問事項を縷々説明した)	
小田代山荘方面の道路法面の整備状況はどうなっているか。	6 月から整備する。	
震災遺構たろう観光ホテルの見学の際の協力金 4000 円は、どういうお金になるのか。	これは維持費に充てられるもの。	
田老地区には老人等が集える憩いの場所が無い。グリーンピア三陸みやこに今ある施設も無くなればどうなるのか心配だ。	この地域にもまだ自治会もできていないと聞く。この実態を行政に伝える。	
被災者の医療費は今後どうなるか。	12 月までは助成延長となっている。	
医療費の現物給付の状況はどうか。	県の事業として来年度から実施する。	
新市庁舎の整備に伴って現市庁舎の活用だが、どこかに貸すというのはできないのか。	耐震性に問題があり、解体することになっている。その跡地利用のアイデアを聞きたい。	
定住化問題だが、私たちの地域では若者がまず戻ってこない。人材がなく、地域の祭りもできなくなっている。嫁さんになる人もいない。結婚サポートも実績がないようだ。空き家も増えている。また野良犬、野良猫も増えてきている。環境も悪くなっている。一方で飼い主のマナーもある。この犬猫の問題も解決してほしい。 (意見、要望)	定住化は、まず増やすより減らさないようにしなければならない。皆さんからいろいろ知恵をいただきながら、議会としても方策をたてていきたい。空き家対策は市で調査をしている。その結果を踏まえ今後どういう対策をたてるかだろう。犬猫の問題は農家のある地域でも増えているようだ。その対策も課題である。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成 28 年 5 月 25 日(水) 19 時 00 分～20 時 45 分 会場:江繋地域振興センター	7 名	〔5 班〕 長 門 孝 則 工 藤 小百合 今 村 正 橋 本 久 夫 高 橋 秀 正
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
川井地区の小学校が廃校になった。立ち入り禁止になり学校が遠くなった。遊具は地域で活用することができない。今後閉校になる校舎も見越しての要望である。	地元要望が優先となるだろうから、その意見を出せばいいのではないかと。担当課に要望してほしい。	
宮古駅南に市庁舎移転することは、とても便利で良いことだと思う。なぜ、最初は否決されたのか。	市役所移転は重要な案件で、自治法で「3 分 2 以上の賛成がなければならない」と決められている。市の対応に不備があったことで最初は否決されたが、反対していた 4 人が了として賛成したことで決まった。駅前移転を反対していたわけではなかった。津波で被災した市庁舎が防災機能を果たせなかったことから、市民の利便性を高めるための事業である。	
新市庁舎はいつ完成するのか。	2 年後には完成する。今、汚染土壌の改良整備を行っている。	
空き家問題だが、この地域にも壊れそうな建物がある。どうすればいいのか。	税金の問題もあり、市が勝手に処分することはできない。仮に解体してもその費用を払える人かどうかの問題もある。市としてもまだその条例がなく、現在その実態を調査中だ。	
その家が倒壊し、道路を塞いだらどうなるのか。今にも倒壊の危機にある家があり、そこを子どもたちが歩いている。一般論ではなく生命、財産を守る観点で考えなければならないと思う。	担当課に伝え、現場をみてもらう。	
閉校した学校には思い出の品が残っている。これらをきちんと保管してほしい。	担当課に伝える。	
廃校した校舎はどうなるのか。	使わなければ解体となる。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
小国地区では里の駅として校舎を活用していく予定だ。大学生の研修などの施設にも使っていきたい。	そうした利用はとても大事だと思う。
門馬小学校の統合要望書があったというが、どなたがいつ提出したものか。	市長の方に半年前に P T A 側からあったと聞いている。
門馬小学校は存続させてほしい。今、子どもを2人通学させている。小学校の閉校は地域の中心がなくなることだ。子育て世代もいなくなる。そのことから地域コミュニティの中心となるのが学校である。地域の保育所も預けやすい。ブロードバンドの活用等で人を呼び込んでほしい。	(意見)
学童保育は川井地区にはない。声を上げているのに実現していない。市では要望がないからと言っている。こうした議会報告会等も通して要望している。	担当課に状況を確認してみる。
早池峰登山に利用されるタイマグラまでの県道が狭い。約 500m の区間、バスが通れない。全国の登山愛好者も訪れる地域だ。整備を要望したい。	国道整備協議会があり、340 号の整備はいつも要望している。なかなかいい返事をもらえないのが現状だ。
バイオマス発電に提供する木材の値段だが、民間のものは安く、国有林が高い。	(意見)
国道 340 号の旧江繋小学校付近に歩道を設置してほしい。	担当課に伝える。
閉校した校舎が立ち入り禁止だ。災害の場合、小学校に避難したいが使えるのか。	災害となれば避難所として使える。防災器具もある。避難訓練もしている。
空き家の倒壊だが、子どもが歩いていてケガをしたら誰の責任になるのか。市できちんと対応してほしい。	我々も確認したので、その空き家対策担当課に伝える。
人口増、地域振興のためにも学校は存続していくこと。10 年は存続してほしい。学校に出張所、保育所をもつてくることなど。内陸部の子育て世代がこの地域に入ってくるよう、住民、議会も頑張してほしい。	(意見)

